

摂食・嚥下障害看護認定看護師

『**摂食**』とは、食べること・食事をとること全般をいい、『**嚥下**』は飲み込むことを言います。摂食・嚥下障害とは、摂食嚥下運動・意識障害・食欲低下・心理的障害などで、『**口から自力で栄養摂取ができない**』ことを言います。

「口から食べる」ということは、単に身体機能の維持だけでなく、精神面や社会生活においても重要な意味を持ち、人の生活を豊かにします。口から食べることが出来なくなってしまうときのQOLの低下は計り知れません。

1人でも多くの「**食べたい!**」気持ちを支えられるような関わりが必要になってきます。



私たちはこんな事をやっています

- ・病棟内摂食嚥下障害看護定期勉強会
- ・院内摂食嚥下障害定期勉強会
- ・院内口腔ケア実技講習会
- ・摂食嚥下ケア推進ナースの育成
- ・摂食機能療法の推進



青山真弓

(2010年取得)

人間が生きていく上で大切な摂食嚥下の分野に出会い、患者さんにケアをさせて頂く中で、食事が食べられるようになり笑顔で退院される姿を見る機会があります。摂食嚥下障害に対し関わることは、患者さんへ希望を与えるケアであり摂食嚥下障害看護の果たすべき使命の大きさを実感しています。「**全ての患者さんに口から食べられるチャンス**を！」をモットーに、多くの患者さんに関わらせて頂きたいと思います。

山縣友香

(2015年取得)

救急救命センターで働く中で、リスクのある患者さんにどのような看護を行えば安全に食べる事ができるのかを考え、この分野について専門性を深めたいと思いました。患者さんのQOLを向上させるために、患者さんにとって口から食べる事という事はどういうことなのかを考え、患者さんに関わっていききたいと思います。

活動内容

～1人でも多くの患者さんが「口から食べる」事ができるように支援します～

1. 摂食・嚥下障害を抱える患者さんに対し、フィジカルアセスメントや全身状態から問題点を明らかにし、介入方法(口腔ケア・嚥下訓練・栄養管理・食事形態の調整・リスク管理)を立案・実践・評価します。
2. 摂食・嚥下障害ケアに関し、看護師・患者さん・ご家族からの相談を受け、アドバイスをさせて頂きます。
3. 患者さん・ご家族をトータルサポートしていけるよう、多職種と連携を図っていきます。



食事介助勉強会



病棟内摂食嚥下勉強会



院内嚥下勉強会